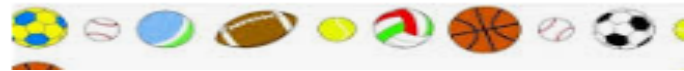


アウトプット力(自己表現力)を磨く

登校時のあいさつや校内ですれ違うときの会釈など、本校の生徒は「いいなあ」と思うことがよくあります。と同時に元気というか活気というか…そこが今一つ足りないなとも感じています。素直でいい生徒たちなのですがもっと自分の思いや考えを表現して欲しいなと思っています。もっともっている力を外に発信して欲しいのです。飢肥中を卒業して大きな荒波に揉まれる前に、自分の思いを伝えたり、言うべきことを言うべきタイミングで話したりできる生徒に育てたいと思っています。表現方法は言葉や文章、そして身体どんな方法でもいいのです。そこで、2学期はそんな場面を意図的に作っていきます。始業式の校長あいさつでも、話しましたがそのためには、「何でも言える、つまり間違ってもいい環境」が大切になります。2学期の重点目標である「共生」のためにも、アウトプット力を高めて互いに理解を深め合えるといいです。



中体連秋季大会の舞台裏



中体連秋季大会の前日に各校の先生たちが会場の準備をしてくださいます。この他、大会当日は数名の先生が朝5時30分から集まって、天候を見て実施の判断をします。試合が終われば、様々な片付けを行ったり(ここは各校の生徒が頑張ってくれます)、その結果をまとめてメディアに送ったりします。自分のチームのことを気に掛けながら、大会運営に携わらねばならない場面も多々あります。今回は、それに加えて台風対応が求められました。急な変更による審判の確保、台風被害による会場の変更、その変更により会場となった学校の準備、補助員の確保等困難を極めました。また、停電や断水など影響を受けたご家庭も多かったことでしょう。

そのような中大会を実施できたのは、たくさんの協力があつたからに他なりません。大会に携わっていただいた方々、そして保護者の皆さまに深く感謝いたします。

生徒の皆さんは、練習を重ねた姿をしっかりと見せてくれました。見ていて、感動する場面もたくさんありました。ただ、今回の大会の陰には、保護者をはじめ、顧問の先生や遠くから来ていただいた審判の皆さま、会場準備してくれた学校の努力の他たくさんの方々のサポートがあつてできたことを心のどこかに留めておいてください。

ちがいをちからに！



本校の重点目標は「ちがいをちからにする学校」です。学校の掲示板は、写真のようにいろいろな人形が飾られています。正義の味方もいれば、悪者やロボットもいます。まさしくそれぞれみんなかなり違ってしています。

東京パラリンピックでは次のようなことについてその大切さが謳われました。

この人形たちの管理は、2年生の松田陽音くんが手伝ってくれています！
※いらない人形募集中です

「一人一人が自分の強みを活かして社会に関わっていくこと」
「誰もが交じり合い、互いの良さを活かし合える社会になること」

学校も同じです。間違えることができる環境で、ちがいを堂々と表現して、認め合い、それをもとに高め合える学校にいきましょう。

本校の先生の紹介をします パート5

教務主任として、きめ細かな気配りと計画で学校の主な舵取りをしてくれ
ます。また、野球部顧問としても、
毎朝の清掃活動から生徒と関わり合
いながら熱心な指導をしています。

3年副担任 湯川先生

3組の学級担任として、いつも生徒
に寄り添いながら対話をしていま
す。また、国語科の教員として読書
活動にも熱心に取り組んでいます。
特技はバレーボールです。

3組担任 内村先生

特別支援コーディネーターとして、生
徒のサポートや保護者との連携を丁
寧にいただいています。教科は音
楽で吹奏楽部顧問として、行事の度に
素晴らしい演奏を披露してくれます。

4組担任 田中先生